



鳥取市教育センターだより

第7号 平成26年12月4日発行

〒680-0053

鳥取市寺町150番地

TEL 0857-36-6060

FAX 0857-26-3878

E-mail kyo-center@city.tottori.lg.jp

モデル

今年も残すところ三週間余りとなりました。時が過ぎるのは本当に早いものです。今年は御嶽山の噴火や広島集中豪雨等により多くの方が被災されるなど、自然の猛威を感じた年だったと思います。

さて、先日テレビで横綱白鵬が大鵬と並ぶ歴代最多の32回目の優勝を達成した一番を見ました。土俵に上がる前からの気迫そして集中力、相手に付け入る隙を与えない取り口、さらには優勝後のインタビューにはとても感動しました。60数kgという小さな少年が各界に入り、大横綱「双葉山」そして「大鵬」をめざす自分の姿とし、親や多くの人への感謝の気持ちを忘れることなく日々精進を重ねる中で成し遂げた偉業、本当に頭が下がる思いです。

人は、人生の中で幾度か理想とする生き方をしている人＝「モデルとなる人」に出会うことがあると思います。それはその人の全人格でなくても、時間をきちんと守るとか、誰に対しても誠実に対応するとか、子どものひきつけ方がうまいとか・・・。そういった「モデル」に出会ったときに、自分もそうなりたいと思うだけでなく、真似をしてみよう、取り入れてみようとするのが、自分を大きく成長させることにつながると思います。小学校1年生の保護者との話の中で、「うちの子は、『先生が〇〇だっていったもん』ということが最近多い」という話題が出ました。親を最初のモデルとしてきた子どもたちは、集団との関わりを広げる中で、その対象も変化させていきます。中でも先生の姿は、子どもたちにとってとても影響力のあるモデルではないでしょうか。学校には、担任の先生だけでなく多くの先生方の姿があります。子どもたちは先生方の発する言葉や姿勢から多くのことを感じ、モデルとして学び取っていきます。そのためにも、子どもに関わる私たちは、互いに切磋琢磨していくことが必要であると思います。

12月行事

12月12日(金) 学級経営研修会 18:00~19:30

12月13日(土) きなんせ! English World 10:00~11:45

12月15日(月) 小中一貫教育研修会 15:15~16:45

12月17日(水) きなんせ! English World キャラバン(賀露小)

12月5・6日の「とっとり知らせたい!」~なるほど! 教育委員会~(いなばぴよんぴよんネット)で鳥取市教育センターが紹介されます。ぜひご覧ください。

鳥取市全小学校1年生を対象とした「ひらがな音読確認及び支援」については、各学校で第2回目の音読確認を終え、音読支援の必要な児童に、タブレットやインターネットを使った音読支援（5分間・21回）を行っていただいているところです。

第1回目と第2回目の音読確認の結果を比較してみますと、第1回目に基準に達しなかった児童のうち半数以上の児童が、21回の音読支援を受けることで、第2回目の確認で基準を満たし、力をつけていることが分かりました（58.4%が改善）。

各校にご協力いただいた「第1回目の音読確認及び支援に関するアンケート」でも、「成果があった」「指導の役に立った」という前向きな回答が得られています。

【アンケート結果より（抜粋）】

Q：音読確認を実施して、ひらがな読みの定着状況の把握や指導に役立ちましたか？

- a.大いに役立った・・・30%
- b.役立った・・・68%

Q：音読確認を実施して気づいたこと

- 実態の把握ができた。（個人差や学級差、読めていると思った児童が読めていなかった、など）
- 早期からひらがな定着指導に取りかかることができ、成果が見られた。
- ▲実施時期が早く、力があるのにゆっくりと読む児童が音読支援の対象となった。

Q：音読確認及び音読支援実施時期や連絡体制に関する要望

- 音読確認をすることで、教員の意識が高まり、ひらがなの読み書き指導に力を入れた。
- 夏休み前に保護者に連絡し、家庭でも取り組んでもらえた。
- ▲夏休み前に音読支援ができるとうい。
 - 夏休み前には音読支援ができるように連絡をさせていただいたのですが、うまく伝わらなかった学校があったようです。
- ▲1人5分間・21回は、時間がかかり大変である。

学校によっては、学級担任以外の先生の協力も得て、朝登校後から放課後の時間まで児童に合わせた計画を立てるなど、音読支援の実施体制を工夫し、効率よく取り組んでおられるところもあります。

第1回目の音読支援で改善しなかった児童、第2回目の音読確認で新たに支援を要する児童（2回目の要支援者の53%）のことを考えると、第3回目に向けて、日々の学習指導で力をつけることが急務です。流暢な読みを身に付けて、2年生に進級させたいものです。

鳥取市教育センターとしても、学校と密に連携しながら、ひらがな音読支援の円滑な実施を進めていきたいと考えています。

研修企画係

きなんせ！ English World

ハロウィーンやクリスマスにちなんだアクティビティを通して、外国の文化や英語でのコミュニケーションを楽しみ、“英語でつながる喜び”が広がっています。

10月25日 English World



ALTのハロウィーン仮装に、子どもたちは大喜び



Nice to meet you! で笑顔がいっぱい

11月28日 先生のための English World

ALTからのChristmasプレゼントは、学校でもさっそく実践できると大好評でした。

<研修内容>

★ALTのクリスマスの話

(母国の習慣や心に残るプレゼント)

★Christmas Dress Up Raceの活動

★クリスマスソング

★ALTとクリスマスカード作成

11月19日 キャラバン (鹿野小)



ALTの国紹介と英語の歌で、会場はまさに English World



英会話にチャレンジ！サインももらえて大満足



活動の様子がTVで紹介されるので見てね！

ICT 活用に関する研修会

～児童生徒の学習意欲を高める授業をめざして～



11月21日(金)に、「未来のとりどり教育創造事業」(ICT活用)研究指定の中ノ郷中学校を会場に、タブレットPC導入校の情報教育担当者を対象として、研修会を行いました。数学の授業参観のあと、活用状況や環境整備・職員研修等、各校の取り組みの成果と課題について熱心な意見交換が行われました。